

大規模言語モデルを活用した データ利活用コンサルティングサービス

ChatGPT等の大規模言語モデルの安定かつ効果的な活用により
カスタマーサポートや社内のナレッジ活用の高度化を支援

近年、AI技術の急速な発展とともに、データ活用がビジネスにおける競争力強化のカギを握る重要な要素となっています。特にChatGPTの登場で話題となった大規模言語モデル(LLM: Large Language Model)は、その高い解析力と自然言語処理能力により、企業のデータ分析や意思決定を効果的にサポートする有力なツールとなりました。しかし、大規模言語モデルの活用には自然言語解析や情報セキュリティ、ガバナンスの専門的な知識やスキルが必要であり、すべての企業が十分に活用できる状況ではありません。アビームコンサルティングは、これまでに培ったAI利活用の知見および業務改革ノウハウを生かした独自の метод論により、AI技術の最先端である大規模言語モデルの安全かつ効果的な活用を支援します。

企業において大規模言語モデルの業務活用を阻害する要因

技術的専門知識やデータ利活用に関する知見の不足に加え、セキュリティやプライバシー、バイアス、倫理、規制といったコンプライアンス面の課題が阻害要因となって、企業内における安全かつ有効な大規模言語モデルの活用が進まない、あるいはコンプライアンス事案を避けるために一律で使用を禁止するなどのケースが散見されます。これにより本来業務の効率と有効性を上げるためのAI技術がその活用の難しさとリスクのために忌避され、生産性向上に対する機会損失となっています。

大規模言語モデルを活用したユースケース



意思決定支援
大量データの中からインサイトを発見し、意思決定に活用



カスタマーサポート
メールやチャットを通じた顧客からの問い合わせ内容の分析



ナレッジ活用
紙やPDFなどデジタルデータとして活用できていないナレッジの活用

課題を解決する「データ利活用コンサルティング」サービス

アビームコンサルティングでは、お客様が抱える大規模言語モデル活用の課題に対し、現状の業務・データ活用状況の把握や活用アイディエーションワークショップの開催から、目的に適したLLMの利用およびカスタマイズの検討・構築、実行プラットフォームの提供、業務活用・運用に伴うコンプライアンス等のガバナンスまでをワンストップでご支援し、想定されるリスクの抑制と期待される成果の実現に貢献します。

サービス要素	内容	主な論点
LLM活用 アセスメント	<ul style="list-style-type: none"> 業務活用のユースケース検討 新規事業アイディエーションのワークショップ開催 プロンプトエンジニアリングなどを使ったPoC支援 	<ul style="list-style-type: none"> LLM活用の目的 利用を想定しているデータ、必要となるデータ モデル・手法の適合性 セキュリティとプライバシー 期待効果と想定コスト
カスタマイズ LLM構築	<ul style="list-style-type: none"> 全社活用の企画 LLMを前提とした業務整理 アーキテクチャ設計、社内システム連携 データ収集、モデル構築支援 評価、チューニング、運用 	<ul style="list-style-type: none"> 業務目的との合致 データの形式、量の実現性 最適なモデル構築方法、アーキテクチャ ハードウェアとインフラストラクチャの整合 モデルの精度 モデルの評価と改善計画
AIガバナンス コンサルティング	<ul style="list-style-type: none"> AI利活用リスク分析 AIガバナンス策定 AI利活用業務のルール・ガイドライン策定 	<ul style="list-style-type: none"> AIを活用する業務の特定とリスク洗い出し 国内外のAI規制・倫理の踏襲 企業理念を踏まえたAI開発ポリシー ポリシーを実務レベルで実現する標準業務フロー

大規模言語モデルを活用したデータ利活用コンサルティングサービスの3つの強み

アビームコンサルティングは、大規模言語モデル活用の知識に加え、幅広い業界・プロセスの知見を活かした施策を、豊富なAI開発実績とプラットフォームにより効果的かつ効率的に実行します。

強み1	<ul style="list-style-type: none"> ● インダストリー、プロセス、AIの豊富な知見と経験 長年培ってきた豊富な業界知見や経験を活用し、業界を取り巻く外部環境の変化を幅広い視野で捉え、インダストリー×プロセス×AI専門コンサルタントでLLMを活用した新規ビジネス・サービス企画や既存業務への適用を推進。
強み2	<ul style="list-style-type: none"> ● 豊富なAIモデル開発実績に基づくサービスデリバリー LLMのビジネス活用において特徴的な進め方をノウハウとして蓄積。豊富なAIモデル開発実績に基づき従来のAI開発プロセスを踏襲しつつ、LLM活用固有の課題にアプローチすることでビジネス活用を実現。
強み3	<ul style="list-style-type: none"> ● データアナリティクス基盤によるクイックな検証推進 AIモデルの構築と実データを用いた検証には、実績のあるデータアナリティクス基盤を活用。検証に必要なツールやライブラリ、セキュリティ設定済み環境をクイックに立ち上げ、リードタイムを短縮。

大規模言語モデル導入のアプローチ

1. 本サービスの冒頭、活用アセスメントのフェーズでは、大規模言語モデルの導入アプローチを段階的に進めます。前半ではまず、課題認識を掘り下げ、LLM活用に期待する成果を定義します。その後成果実現の方針と評価指標の考え方を定義し、実際にLLMを使ったPoCを行うためのデータを収集します。PoCのフェーズでは、アセスメントフェーズで定義した期待成果に基づいて、プロンプトの設計とモデルチューニングの検討を行います。
2. 次に、プロンプトあるいはチューニングされたモデルによるレスポンスを検証・評価し、必要に応じて設計・チューニングを繰り返します。情報セキュリティやガバナンスの観点から検討を進めます。導入後も、定期的な効果測定や分析を行い、必要に応じて改善を行うことで効果的な運用が可能となるように支援いたします。
3. 並行してガバナンスについて関係部署と協議・調整し、安全で確実な運用に向けた体制の確立を図ります。

